



雲林寺報 第22号

2017年1月発行

曹洞宗大洞山雲林寺

群馬県吾妻郡長野原町長野原73 電話0279-82-2201 ホームページ <http://unrinji.jiin.com>

新年のご挨拶

謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様のご多幸とご繁栄を心より祈念申し上げます。

さて二年の計は元旦にありといいますが、皆様今年一年、何を目標に過ごされるか、健康に関する目標や、〇〇を達成する！といった目標でも良いです。一年の始まりという節目です。すから、習い事やスポーツなど、何か新しいことを始めてみるのもよいかもしれません。

曹洞宗の大事なお経の一つである**修証義(しゆしよぎ)**には**最勝の善身を徒(いたずら)にして露命(ろめい)を無常の風に任(まか)せることなかれ**ということばがあります。優れた人生を無益に過ぎ、露のようにはかない命をただ過ぎ去る時に任せて無為に過ぎしてはならない、といった意味です。また、道元禅師の**興座教訓**には**更に何れの時を待つたん(今やらなくて、いつやるのか?)**ということばがあります。

今できることを一心に行うことが、仏道にかなった行いなのです。皆様が一年間、かけがえない一日一日を精一杯、無事に過ごされますよう、心よりお祈り申し上げます。

本年もよろしくお願ひ申し上げます

- (総代)
- 会長 田村 守
 - 副会長 櫻井芳樹
 - 書記 長谷川誠 黒岩 元
 - 会計 山口次夫 永井芳司
 - 監事 櫻井輝久 宮崎 透
- (世話人)
- 長野原 市川儀一 黒岩範一 黒岩保男
宮崎広保 山口喜正 湯本定由
山崎敷男 長谷川浩一 佐藤良平
 - 大津 浅見良雄 市村真 小林喜一郎
櫻井敏雄 塩野英介 湯本茂
吉澤功
 - 羽根尾 黒岩進 桜井孝治 山口義秋
 - 与喜屋 萩原富夫
 - 横壁 金子茂雄
 - 林 小林寛 篠原憲一 篠原忠秋
 - 川原湯・川原畑 豊田清
 - 北軽井沢 青木博文 井上けさ子
小林一雄 清水忠雄 岩田紀重
宮田満 吉田昇 神戸久利

平成29年雲林寺年間予定

1月2日	大般若祈禱会	5月24日~26日	梅花流全国大会
1月4日~7日	年頭のご挨拶廻り	6月22日	梅花流群馬県大会
1月11日	初観音梅花流新年会	6月中旬	第5回護持会総会
2月3日	節分会	8月5日	天明供養祭
2月15日	釈尊涅槃会	8月14日	大施食会
2月中旬	教区護持会総会	9月20日~26日	秋彼岸
2月28日	梅花流一泊研修	10月9日(祝)	第9回ゴルフコンペ
3月1日	梅花流宗務所検定	10月上旬	忠霊塔供養祭
3月17日~23日	春彼岸	11月中旬	教区団体参拝旅行
4月3日	大般若会	12月8日	釈尊成道会
4月8日	釈尊降誕会(花祭り)	12月31日	除夜の鐘

※赤文字のご案内は3ページに掲載しております。



主な催しのご報告



①八月五日、天明の供養祭が行われました。当山参道には、天明三年（一七八三年）浅間山大噴火で亡くなった方の供養碑と死者を弔う地蔵があります。天明三年の浅間山噴火は同年五月八日、八月四日に大噴火、火砕流が発生し、八月五日午前一〇時頃土石流による天災害となりました。この長野原の地は二〇名の犠牲者を出しました。旧鎌原村四八三名に次ぐ被害です。毎年、多くの犠牲者を出した八月五日に供養をしております。

②八月七日、長野原町立中央小学校サッカー部が一泊修行体験をしました。

（表紙）大施食会の法要が厳修されました。

③法要前にハルモニカ奏者の坂井清様（中之条町）に演奏していただきました。坂井様はF・I・Hジャパン第三十二回ハルモニカコンテスト（世界ハルモニカ連盟日本支部主催）の複音部門で、優勝されており、日本一に輝く演奏は見事でした。

④法要終了後は曹洞宗管長より表彰がございました。当山護持会長の田村守様、副会長の櫻井芳樹様、総代の長谷川誠様、山口次夫様の四名の方が表彰されました。

⑤九月二十一日は忠霊塔供養でした。忠霊塔は終戦の昭和十九年八月、雲林寺境内に建立され第二次世界大戦の戦没者のお骨を安置しております。遺族の方が集まり、お焼香して頂きました。

⑥九月二十四日お彼岸中に初心者坐禅会が行われました。本年も予定しておりますので

第八回雲林寺親睦ゴルフコンペ開催

昨年一〇月一〇日体育の日、五〇名の檀信徒にお集まり頂き、開催されました。天候にも恵まれ爽やかなゴルフ日和となりました。ゴルフ終了後は本堂にて親睦パーティーが行われ、護持会副会長の櫻井芳樹様にご挨拶を、総代の山口次夫様に乾杯の音頭を取って頂きました。世話人の湯本茂様、長谷川浩一様に司会進行して頂きまして、優勝は初出場の佐藤良平様でした。本年も皆様ふるってご参加ください。



感謝録

ゴルフコンペ賞品寄付者

草津温泉ホテル櫻井ベア宿泊招待券	櫻井芳樹様
金吉萬圓	山口次夫様
ビールカレシセット	浅間酒造様
酒五本	櫻井輝久様
ナイキボストンバッグ	吉澤建設様
コシヒカリ十キロ	萩原稔様
ビール一ケース	佐藤良平様
空気清浄機	長谷川浩一様
ポディソープ二本	草津ナウリゾートホテル様
ハンドクリーム	草津ナウリゾートホテル様
夕食御招待券（ベア）	草津ナウリゾートホテル様
キャディバッグ	草津ナウリゾートホテル様
ゴルフボール一ダース	草津ナウリゾートホテル様
スポーツベル	草津ナウリゾートホテル様

結果発表

結果発表表	佐藤良平様
一	藤田尚登様
二	小原裕一様
三	金原一夫様
四	金子一夫様
五	唐原浩夫様
六	山谷次夫様
七	篠原次夫様
八	唐澤次男様
九	唐澤次男様
十	唐澤次男様

交通安全祈願 マグネットステッカー

昨年は高齢者ドライバーによる死亡事故が多発致しました。とはいえこの長野原町は車のない生活は不便です。雲林寺では交通安全を祈願しマグネットステッカーを作成しました。一月二日の新年祈禱会で祈願したものを年始にお配り致します。是非自家用



行事のご案内

節分会

二月三日夜七時

冬から春になる節日、いわゆる立春の前日に「明日からの一年が、災いのない一年になりますように」と願う行事が節分です。当山では厄払いの祈禱及び法要を毎年行っております。一般祈禱二千円、記念品付祈禱三千五百円になり、記念品付祈禱を申込された方は会場の特設舞台上がって福豆をまいて頂きます。尚、まかれた福豆の中にはくじが入っており、景品と交換できます。是非ご参加ください。

平成29年 厄年早見表			
前厄	本厄	後厄	
女19歳の厄	17歳(2000生)	18歳(1999生)	19歳(1998生)
男25歳の厄	23歳(1994生)	24歳(1993生)	25歳(1992生)
女33歳の厄	31歳(1986生)	32歳(1985生)	33歳(1984生)
女37歳の厄	36歳(1981生)		
男42歳の厄	40歳(1977生)	41歳(1976生)	42歳(1975生)
男女61歳の厄	59歳(1958生)	60歳(1957生)	61歳(1956生)
幼児4歳の厄	2歳(2015生)	3歳(2014生)	4歳(2013生)



大般若会

四月三日一〇時三〇分

大般若会とは、大般若經の經文を読む(転読)ことにより、その功德をもつて、世界の平和や参列者の平安などをご祈禱申し上げる法会です。

この転読とは、僧侶何人かで手分けして經本をオーディオのようによりパラパラと広げてめくって流し読むことで、それによって清らかな般若(はんにや)の風が起きるとされています。この清らかな風が当たることで、昔より家内安全、厄難消除、商売繁昌などのご利益があるとされており、転読による般若の清らかな風のご利益をお受け下さい。

大施食会

八月十四日十一時

施食会の目的は、あの世で苦しむ餓鬼に飲食を施すことです。また、ご先祖様のご冥福を心より願うとともに、万物諸々に對する思いやりの心と感謝の気持ちを捧げるご供養なのです。では、何故、お盆の時期に施食会がおこなわれるようになったのでしょうか。それは、お盆の由来である、目連(もくれん)さまが餓鬼道に落ちた母親を救った話と、施食会の由来である、阿難(あなん)さまが餓鬼に施しをして救われた話が似ていることがひとつ。もうひとつは、故郷のご実家に皆が集まるお盆の時期に各家庭ではご先祖様をおもてなしする行事を行い、お寺では施食会法要を営み、その法要に家族・親戚皆で参加しお帰りになられているご先祖様があの世で苦しまないように願うという意味が込められて一緒にの時期に行います。

団参旅行 十一月中旬

北陸方面 (永平寺参拜)

大本山永平寺は一二二四年、道元禪師が四十五歳のとき、波多野義重(はたのよししげ)公の願いによって、越前(福井県)に大仏寺(だいはつじ)を建立し、二年後に永平寺と改められたことに始まります。深山幽谷の地にたたずむ山門、仏殿、法堂(はつどう)、僧堂(そうどう)、庫院(くいん)、浴室、東司(とうす)の七堂伽藍(しちどうがらん)では、修行僧が道元禪師により定められた厳しい作法に従って禅の修行を営んでいます。

旅行の詳しい行程は次号(本年八月)にご案内させていただきます。檀信徒様でしたらご案内でもご参加できます。心の観光地として国内外からも注目されている永平寺へ是非参拝されてみませんか？

坐禅会・茶話会

二月二十六日十四時 本堂

本年も予定しております。坐禅の時間は指導も含め一時間程です。多くの参加者をお待ち申し上げます。

梅花流だより

梅花流群馬県奉詠大会

轟 美代子

第五十九回梅花流群馬県奉詠大会が十一月十六日渋川市民文化会館において開催されました。雲林寺講としては比較的近い会場なので往復時間がかからずに助かりました。

年に一度の県大会は講員の皆様の日頃の精進と努力の成果が発揮される舞台でもあります。今年の課題曲は「花供養御和讃」「花供養御詠歌」です。この歌の要約はいつ、どこでも花を供える行いが御仏(みほとけ)の教えを自分自身が確認することに他ならないという事なのです。「花を供えさえすればいいのだ」という考えは「供養」には当てはまらない事を教えています。

去年と同じく常林寺講、無量院講、雲林寺講の合同登壇ですが、詠題詠頭にも雲林寺の佐藤心さ子さん、篠原禮子さん、宮崎八寸さんが指名されお役を立派に果たされました。更に清興では地元元川雷太鼓保存会による勇壮でリズムカナルな演奏に会場が盛り上がりアンコールにも答えて下さいました。

雲林寺梅花講に入講して

原澤 幸子

二〇年前の初秋、まだ残雪厳しい頃北陸へ旅行した時に初めて大本山永平寺に行き拝観させて頂きました。そこで眼にした光景は、雲水の皆さんが黙々と一生懸命に作務をされている姿でした。廊下や壁、見える所すべてに掃除がいき届いていて今迄にない感動と驚きでした。思えばその時から仏教に興味を持ち、今をしっかりと大切に生きなければいけないと、意識するようになったのかもしれない。そして今、葬儀の仕事をするようになり、その中で副住職様や梅花講の皆さんが御詠歌をお唱えする姿を見て私にもできないかな・・・したい!!と思えました。これまでの色々なきっかけや縁があり講に入らせて頂いております。まだまだ、ついていくだけで一生懸命ですが、お寺で学ぶという事がすごく楽しいと感じています。



講員さん募集中

ご詠歌は、ご供養の気持ちを心温まるメロディーにのせて歌います。初めての方でも是非お気軽にお越しください。お待ちしております。

